

第76期

株主通信

2023.4.1～2024.3.31



地球をはかり、未来を創る

～ 人と自然の共生にむけて ～



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、政府主導の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」や「デジタル田園都市国家構想」、国土交通省主導の「Project PLATEAU(プラトー)」などが引き続き推進されております。また、2024年問題を抱える建設・物流業界などの分野では、デジタルトランスフォーメーション(DX)の拡大も続き、当社グループが持つ技術やノウハウなどを発揮する事業領域に対するニーズは、継続して高い水準にあります。

このような事業環境のなか、2023年10月に創業70周年を迎えた当社は、「地球をはかり、未来を創る ～人と自然の共生にむけて～」を経営ビジョンに掲げ、事業を通じて未来社会の構築に貢献する企業を目指しております。そして、社会の一員としてその存在を期待され、持続可能な地球環境の創出と社会基盤の構築に貢献するため、「パスコグループ中期経営計画2023-2025」を2023年8月に策定し、達成に向けた取り組みを開始しております。

ここに、第76期連結累計期間(2023年4月1日から2024年3月31日まで、以下「当期」)における決算の状況と、中期経営計画の取り組みについてご報告申し上げます。

なお、当期の年間配当につきましては、創業70周年記念配当(基準日9月30日)25円と期末配当50円とし、1株につき75円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
たかはしのりみつ
高橋 識光

「パスコグループ中期経営計画2023-2025」

2023年4月7日、当社は不適切な会計処理に関する調査報告書を受領いたしました。その結果を受け、社会の一員として、その存在を期待され、持続可能な地球環境の創出と社会基盤の構築に貢献するため、経営の健全化と事業を通じて社会に貢献することを主眼に置いた「パスコグループ中期経営計画2023-2025」を2023年8月7日に策定いたしました。本中期経営計画の3か年を、“基盤再構築期”と位置付け、新たな飛躍期に向けた経営基盤の再構築を目指してまいります。

基本方針は「“真に信頼される企業経営”への変革

を第一に、空間情報の活用による新たな市場戦略の礎を築く」と定め、計画の2本柱として、「経営の真価計画」と「事業の進化計画」の2つの計画構成を掲げております。

計画の初年度となる当期は、計画の方針に則り、着実な歩みを進めております。

「経営の真価計画」では、経営理念を重視した健全な経営を遂行するため、当社の真の価値を再構築するための取り組みを実施いたしました。また、「事業の進化計画」では、3つの“しんか(深化・伸化・新化)”計画のもと、空間情報事業の拡大・成長に向けた取り組みを進めております。

基本方針

“真に信頼される企業経営”への変革を第一に、空間情報の活用による新たな市場戦略の礎を築く

計画構成

経営の真価計画

社会に存在を期待され、持続可能な企業経営を維持するため、経営理念を重視した健全な経営を遂行するための計画を定め、パスコの真の価値を再構築する

事業の進化計画

持続可能な地球環境の創出及び社会基盤の構築に貢献するため、3つの“しんか(深化・伸化・新化)”計画を策定し、空間情報事業の拡大・成長を目指す

事業活動の概要

各部門の事業活動の状況につきましては、以下のとおりです。

「国内公共部門」においては、国土強靱化に向けた調査・測量業務が落ち着き始めた一方で、政府のデジタル規制改革の追い風により、「デジタル田園都市国家構想」に基づく各種台帳のデジタル化業務や、その利活用のためのシステム導入が順調に拡大いたしました。また、「Project PLATEAU」に基づく3次元都市モデル構築業務なども拡大しております。

「国内民間部門」においては、政府の「物流革新緊急パッケージ」への対処・貢献を含め、各分野の課題解決と当社の収益性向上に向けたビジネスモデルの改革・基盤構築を進めました。さらに、次の飛躍期に向けたサービスラインナップの充実と販売戦略の強化に努め、継続型サービスの拡大に注力いたしました。

「海外部門」においては、一層不安定となった社会情勢のなか、開発途上国や新興国向けの政府開発援助(ODA)事業の案件獲得に引き続き努めております。また、新たな海外市場戦略に基づき、コア技術の海外展開を図るなど、ビジネスチャンスの拡大に向けた取り組みを進めております。

決算の状況

当期の受注高は、62,049百万円(前期比2.4%増)、売上高は60,704百万円(同2.1%減)、受注残高は26,401百万円(同5.5%増)となりました。

部門別の状況は以下のとおりです。

「国内公共部門」の受注高は、国土強靱化や衛星データ受信業務の受注が好調だったことにより、56,480百万円(同6.7%増)、売上高は各種台帳業務などが堅調に推移し、53,527百万円(同0.8%減)、受注残高は複数年契約の受注増加により21,302百万円(同16.1%増)となりました。

「国内民間部門」の受注高は、車両搭載型レーザー(MMS)による測量業務などが減少したことにより、

3,631百万円(同26.5%減)、売上高は4,838百万円(同13.4%減)、受注残高は4,240百万円(同22.2%減)となりました。

「海外部門」の受注高は、前期インドネシア子会社の大型案件の反動減により、1,937百万円(同29.8%減)、売上高は前期の3次元地図データ整備業務の反動減により、2,338百万円(同6.4%減)、受注残高は858百万円(同30.2%減)となりました。

利益面につきましては、売上総利益は、売上高の減少により、17,184百万円(同3.2%減)となりました。営業利益は、売上総利益の減少、人員増加および賃上げ実施に伴う人件費増加の影響で、5,306百万円(同17.5%減)となりました。経常利益は、営業利益の減少により、5,433百万円(同16.7%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)打ち上

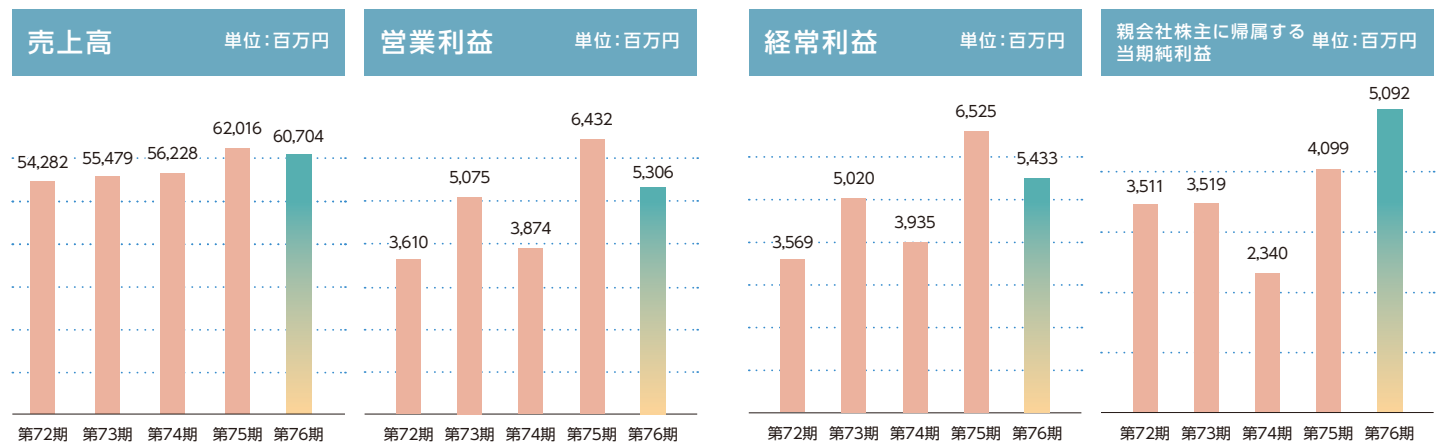
げ失敗により、受取損害保険金収入および固定資産売却益などを計上したことにより、5,092百万円(同24.2%増)となりました。

次期の見通し

「パスコグループ中期経営計画2023-2025」の2年目となる翌連結会計年度(2024年4月1日から2025年3月31日)も、基本方針に掲げる「空間情報の活用による新たな市場戦略の礎を築く」ための取り組みを進めてまいります。

また、引き続き、企業活動の持続可能性(サステナビリティ)を維持・発展させるために、企業の社会的責任(CSR)を包含した Environment(環境)・Social(社会)・Governance(企業統治)に配慮した経営のもと、空間情報事業を通して国際的な持続可能な開発目標(SDGs)の達成を目指してまいります。

これらの活動を推進することにより、次期の連結業績につきましては、売上高60,000百万円、営業利益4,600百万円、経常利益4,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,100百万円を予想しております。なお、年間配当金につきましては、普通配当を5円増配することで、1株あたり55円を予定しております。



当期の活動

2023.4 → 2024.3

パスコの技術で、社会の未来を一步前へ。



2023年4月13日

メタバースを活用した実証プロジェクト開始

文化遺産の保存・活用に向けて、メタバースを活用した地域振興を目指す実証プロジェクトを開始

2023年4月27日

AI×3次元レーザー計測で河川管理のDXを目指す

AI画像判読と3次元レーザー計測技術を活用し、土砂堆積状況の把握など管理の効率化に向けた実証を開始

2023年5月11日

企業連携で森林由来J-クレジット創出を目指す

ENEOS株式会社と連携し、航空レーザー計測や衛星モニタリング技術でJ-クレジット創出を目指す

2023年5月18日

3次元情報のプラットフォーム構築を推進

3次元地理空間データの配信プラットフォーム「TerraVerse(テラバース)」の提供を開始

2023年5月31日

企業連携で自動運転とDXの普及促進を目指す

アイサンテクノロジー株式会社と連携し、自動運転とDXの普及促進で地方創生を目指す活動を開始

2023年7月7日

3次元レーザースキャナで公園管理のDXを目指す

公園内の防犯・安全・景観の維持に必要な樹木管理などの効率化を目指す実証に着手

2023年8月1日

デジタル技術でインフラ管理のDXを目指す

デジタル技術を活用し、防犯灯管理の一元化と効率化を目指す実証に着手

2023年8月30日

GISTDAと空間情報事業の開発に着手

タイ地理情報・宇宙技術開発機関(GISTDA)と空間情報事業の開発などの検討に向け基本合意を締結

2023年10月27日

おかげさまで創業70周年

1953年に創業して以来、皆様から多大なるご支援を賜り、70周年を迎えることができました



2023年11月14日

30by30アライアンスへ参加

環境省主導の「生物多様性のための30by30 アライアンス」へ参加



2023年12月13日

「サステナビリティレポート」を発行

2024年1月26日

衛星画像×AIで不法投棄の早期発見を目指す

光学衛星画像とAI解析技術で、不法投棄などの早期発見と監視体制強化を目指す実証に着手

2024年4月17日

ASEAN エリマケサービス「N-Deals™(エヌ・ディールズ)」の提供を開始



2024年5月16日

GISのAPIサービス「GeogrAPI™(ジオグラピー)」の提供を開始

表彰 1

撮影 1

第1四半期

撮影 2

撮影 3

第2四半期

撮影 4 5

第3四半期

表彰 2

撮影 6

第4四半期

表彰 3

表彰 4

表彰

1 2023年4月10日

「ジャパン・レジリエンス・アワード」準グランプリを受賞

セコム株式会社と実施した、自律飛行ドローンを活用した公共インフラ巡回監視の実証実験が「ジャパン・レジリエンス・アワード」準グランプリ・二階俊博国土強靱化提唱者賞を受賞



2 2023年11月16日

「ASPICクラウドアワード2023」総合グランプリを受賞

GIS自治体クラウドサービス「PasCAL for LGWAN」が、ASPICクラウドアワード「社会業界特化系ASP・SaaS部門」で総合グランプリを受賞

3 2024年2月15日

「世界の地理空間関連企業トップ100社」に選出

3年連続で地理空間情報の世界的なコミュニティGeoawesomenessから「世界の地理空間関連企業トップ100社」に選出

4 2024年3月12日

「宇宙開発利用大賞」を受賞

衛星×AIを活用した森林変化情報提供サービス「MiteMiru森林」が「宇宙開発利用大賞」農林水産大臣賞を受賞



災害緊急撮影

1 2023年4月

福井県大野市の山腹崩壊

2 2023年7月

前線による大雨災害

熊本県熊本市東区秋津町付近木山川の氾濫状況



3 2023年8月

台風7号災害

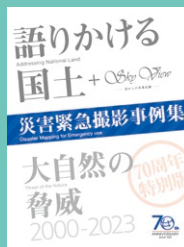
4 2023年9月

台風13号災害

5 2023年9月

事例集を発行

災害緊急撮影事例集「語りかける国土」-大自然の脅威- 70周年特別版を発行し、当社HPに公開



6 2024年1月

令和6年能登半島地震

石川県珠洲市宝立町春日野付近の建物流出・倒壊の様子



「パスコグループ中期経営計画2023-2025」 達成に向けて

経営の真価計画 当期の活動

公正・公平な業務姿勢の徹底

ステークホルダーとの信頼構築

価値創造型人材の育成

パスコDXの強化

環境に配慮した事業活動への転換

サステナビリティレポート
2023年12月13日発行



真に信頼される企業経営への変革に向けた取り組みでは、コンプライアンスをはじめとする教育研修の徹底、正しい判断基準・ルールを明確化し、運用・モニタリングを開始いたしました。また、「パスコDXの強化」として、基幹システムの更新や管理業務の標準化・集約化を進めております。

さらに、「環境に配慮した事業活動への転換」の

一環として、環境省主導の「生物多様性のための30by30アライアンス」への参加や、当社初となる「サステナビリティレポート」を発行いたしました。

今後は、温室効果ガスの排出削減の徹底に向けた社内啓発や、サステナビリティ人材教育などを進めてまいります。

事業の進化計画 当期の活動

既存事業の革新・強化 **深化**

持続可能な事業の拡大 **伸化**

多様性による事業創造 **新化**

3つの“しんか”を促進する
基盤技術×先進技術の強化

既存事業の革新・強化を目指す「深化」では、生産性向上に向けた取り組みや事業領域拡大に向けた体制強化を進めております。また、持続可能な事業の拡大を目指す「伸化」では、3次元地理空間情報データ配信プラットフォームの提供開始、タイ国との衛星分野における基本合意の締結、衛星とAIを活用した不法投棄早期発見の実証実験、森林変化情報サービス提供などに取り組みました。さらに、多様

性による新たな事業創造を目指す「新化」では、メタバースを活用した実証プロジェクトへの参加など、新たな事業創造に向けた活動を進めております。

今後は、引き続き品質・生産性向上に向けた事業運営体制の構築やASEAN地域への事業展開、そして、新たな事業領域拡大に向けた積極的な共創・協業を進めてまいります。





連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 2024年3月31日現在	前 期 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	60,785	58,811
固定資産	13,336	12,165
資産合計	74,121	70,977
負債の部		
流動負債	29,656	31,009
固定負債	11,592	12,235
負債合計	41,249	43,244
純資産の部		
株主資本	30,679	26,599
その他の包括利益累計額	1,582	598
非支配株主持分	610	533
純資産合計	32,872	27,732
負債純資産合計	74,121	70,977

財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末(以下「前期末」)より3,144百万円増加し74,121百万円 となりました。その主な要因は、前期末より固定資産に含まれている「退職給付に係る資産」が1,283百万円増加、流動資産に含まれている「受取手形、売掛金及び契約資産」が1,014百万円増加したことによるものです。

負債合計は前期末より1,995百万円減少し41,249百万円となりました。その主な要因は、当期に前期末営業債権の多くが回収され、回収資金で借入金を返済し、前期末より2,400百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末より5,140百万円増加し32,872百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益5,092百万円により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	前 期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
売上高	60,704	62,016
売上原価	43,520	44,264
売上総利益	17,184	17,752
販売費及び一般管理費	11,878	11,319
営業利益	5,306	6,432
営業外収益	219	185
営業外費用	92	93
経常利益	5,433	6,525
特別利益	2,380	1,173
特別損失	464	2,039
税金等調整前当期純利益	7,349	5,659
法人税、住民税及び事業税	1,688	1,864
法人税等調整額	518	△326
非支配株主に帰属する当期純利益	49	22
親会社株主に帰属する当期純利益	5,092	4,099



会社概要

会 社 名	株式会社パスコ
株 式 上 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9232
住 所	東京都目黒区下目黒 1-7-1 パスコ目黒さくらビル
設 立	1949年7月15日
資 本 金	8,758,481,700 円
従 業 員 数	連結:2,838名、単体:2,340名
事 業 内 容	人工衛星、航空機、ドローン、 専用車両、船舶などに搭載した 各種センサーを駆使して収集し た国内外の空間情報に、加工・ 処理・解析を施し、お客様の課 題解決に向けた空間情報サービ スを提供

役 員

代表取締役社長	高 橋 識 光
常 務 取 締 役	宮 本 和 久
取 締 役	神 山 潔
取 締 役	品 澤 隆
取 締 役	濱 出 正
取 締 役	西 村 修
取 締 役	川 口 剛
社 外 取 締 役	高 村 守 (独立役員)
社 外 取 締 役	中 里 孝 之 (独立役員)
常 勤 監 査 役	柳 内 清 孝
監 査 役	曾 我 部 貢 作
社 外 監 査 役	長 坂 省 (独立役員)
社 外 監 査 役	大 塚 信 明 (独立役員)

(2024 年 6 月 21 日現在)

株式データ

発行可能株式総数 ……40,006,199 株 単元株式数 ……………100 株
発行済株式数 ……………14,418,025 株 株主数 ……………8,449 名

大株主	持株数(千株)	割合(%)
セコム株式会社	10,316	71.7%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	204	1.4%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	190	1.3%
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	154	1.1%
パスコ社員持株会	151	1.1%
GOLDMAN SACHS BANK EUROPE SE	150	1.0%
JPモルガン証券株式会社	148	1.0%

注) 発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合。なお、当社は自己株式21千株を保有しています。
持株数は千株未満切り捨て、割合は小数点第2位を四捨五入しています。

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
剰余金配当の基準日	毎年3月31日
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	電子公告により行います。 (ホームページアドレス https://www.pasco.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告 によることができないときは、東京都において発行する 日本経済新聞に掲載します。

機関投資家向け

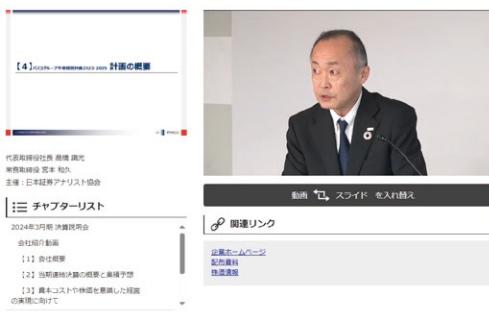
決算説明会を開催

●当期の決算や中期経営計画の状況を説明

2024年5月13日に、機関投資家様を対象とした「決算説明会」を開催いたしました。

当日の様子を収録した動画と資料は、当社ホームページからどなたでもご視聴いただける環境で公開しております。ぜひご覧ください。

(9232) パスコ 2024年3月期決算説明会



パスコHP>決算説明会

<https://www.pasco.co.jp/ir/library/rb/>

動画視聴はこちら



株式会社パスコ

本社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル
電話 03-5722-7600 ホームページ <https://www.pasco.co.jp>



この印刷物から発生するCO₂はカーボンフリーコンサルティング㈱を通じてオフセットされています。

